

令和7年度 学校経営方針について

校長 洲上 卓也

(1) 学校経営の方向性

- ①児童の実態，課題に応じた具体的な取組を継続して行うこと。
- ②教職員の資質向上を意識し、学び高まるチーム大園小であり続けること。
- ③学校・家庭・地域の連携・協働による「地域総がかりの子育て」の継続、拡大を図ること。
- ④なお一層「働き方改革」の推進、「子どもと向き合う時間」の確保に努めること。

(2) 学校教育目標

長崎県の教育方針

長崎市の教育方針

児童の実態、地域の願い

「できた！」

～ 未来を描き 夢を磨く ～

(3) 学校経営方針

みんなでつくる

しんせつ あいさつ わらいこえ せいちょう のバケツ

いっぱい 大園小学校

めざす学校像

- 子どものよさを見付ける学校
- 夢を育む学ぶ力を付ける学校
- 地域とともにあり、地域に愛される学校
- あいさつや感謝の言葉が当たり前の学校
- 子どもも職員も元気な学校

めざす子ども像

- 課題を見付け、自ら学ぶ大園っ子
 - ・「めあて」を立てて学ぶ子
 - ・意欲的に学習に取り組む子
 - ・学ぶ習慣を身に付けている子
- 友達のよさに気付く大園っ子
 - ・あいさつができる子
 - ・「ありがとう」や「ごめんなさい」が素直に言える子
 - ・笑顔で人に接する子
- 心と体に「たい力」を付ける大園っ子
 - ・やる気をもって自ら動く子
 - ・あきらめない子
 - ・体を動かすことが大好きな子
- きまりを守る大園っ子
 - ・人の命も自分の命も大切にする子
 - ・自分の役割に責任をもって取り組む子
 - ・きちんと時間を守る子

めざす教職員像

- 教育者としての使命感と情熱に満ちた教職員
- 「社会を生き抜く力」をしっかりと育む教職員
- 子どもに寄り添い、保護者に寄り添う教職員
- 地域に溶け込み、地域を愛する教職員
- 「ワーク・ライフバランス」を実践する教職員

将来の夢や希望の実現へ向け、充実した教育を提供できる大園小であり続けたい。



「しあわせのバケツ」
いっぱい大園小学校



「共有と協働」

大園っ子を育む 「大園小教育実践プラン」

(第4次長崎市教育振興基本計画) 目指す子どもの姿
「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、いかなる時代や環境の変化にあっても、強く生き抜く力を身に付けている。」

基本施策

長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜くこどもを育みます。(G1)

(重点化方針)「子どもたちの学力を保障し高めること」自立

「子どもたちの社会性を育むこと」共生

「教育の質を高める環境の構築」働き方改革

キーワード:誰ひとり取り残さない



学校教育目標 及び 方針

「できた！」

～ 未来を描き 夢を磨く ～

(重点1) 「一人一人に寄り添う」個に応じた教育実践

- ① 「保護者との合意形成」のもと、具体的かつ効果的な「個別の指導計画、支援計画の作成(通常学級在籍児童も含む)」
→ 学期はじめに作成・追記 学期末に検証・修正
- ② 「校内支援委員会」を中心とした、特別支援教育に関する教職員の資質・児童理解の向上及び深化→ 毎月1回程度、適宜研修や資料提供
- ③ 「外部機関」「外部人材(SC、SSW、別室登校支援員 等)」「地域」との連携 → 必要な時は、直ちに管理職やコーディネーターに報・連・相
- ④ 共通理解を深めるための「保護者面談等」の積極的な実施
→ 気になることは、親身になって「その日その時即対応」
- ⑤ 「指導」も「称賛」も、目を合わせたアイアイ(愛愛)コミュニケーション。
そして、その理由も添えて!! → 機会を逃すことなく
「しないのではなく、できない。」「きっといつかは心に届く。」

（重点２）「気付くまで」「できるまで」「わかるまで」の授業

- ①「大園スタンダード」・「学力向上プラン」の確立と実践（特に算数科における言語活動の充実）
- ②「Ｔ・Ｔ」や「少人数・個別指導（特別支援教育、不登校対応も含む）」等を生かしたきめ細かな授業や学習の提供
- ③ 家庭における学びの習慣化（「宿題」＋「自主学習」＋「家庭読書」）
→ 「家庭学習の記録」の実施
- ④「ギガスクール構想」の確実な推進（授業や家庭学習での積極的な活用）
→ 全学級・全授業 正答率 全学年全教科平均 85%（算数 80%）
→ 自主（家庭）学習 15分×学年＋15分 児童 9割達成

（重点３）「当たり前」の生活を、当たり前」の生活指導

- ①生活目標の「確実な伝達と検証」 → 実行できるまで継続
- ②「生活アンケート」の実施及び分析と保管、結果と対応を管理職へ報告
→ 毎月実施 いじめ継続ゼロ
- ③ 4つの「あ」＋「あ」の徹底指導
○あいさつ（名前を付けて） ○あいての気持ち（ふわふわ言葉）
○あるき方（はさみあるき） ○あとしまつ（スリッパ並べ）
→ あたりまえに！！

（重点４）「みんなでつくる大園小」をモットーとした

学校、家庭、地域の連携・協働

- ① 学校からの「情報発信」（ホームページ、学年・学級だより 等）
→ 校長室だよりは、月 3～4回 学年・学級だよりは、月 回
- ② 地域組織・人材との連携・協働、「地域学校協働活動」の推進
→ 各学年少なくとも 1 回は、地域人材を活用
- ③「まなび愛」「つながり愛」「わかり愛」のある P T A 活動の推進
→ 各学年 1 回は対話型懇談会実施 メディアルールあり家庭 100%

（重点５）「たい力」につながる保健・安全指導

- ①「基本的な感染症予防」の継続 → 消毒、換気、健康観察 毎回・毎日
- ②「早寝、早起き、朝ご飯」の定着 → まずは 9割 要検証
- ③「フッ化物洗口」の安全な実施 → フッ化物洗口は週 1 回 金曜日の朝
- ④「危機管理意識の向上」（事故に遭わない、遭わせない）→ 重大事故ゼロ
- ⑤「なつははち運動」の意識付け、定着 → 忘れる児童ゼロ
な なふだ つ つめきり は 歯磨き
は はんかち ち ちりがみ